

## 初診受付に行く・手引き

### 【この課の目標】

- ・どの病気がどの科で診察出来るのかを覚える。
- ・受付係の指示に含まれるキーワードを聞き逃さないようにする。
- ・会話を繰り返し実践することで、初診手続きの流れを身に付ける。
- ・問診票の大まかな書き方を覚える。

### 体の名前

→体の部位ごとに名称を付してある。まずはテキストを開かず、教師が指したところを学習者に答えさせ、知識の確認と新たな知識の積み上げを行う。一通り終わった後にテキストを開き、再度確認を行う。

### こんなとき、どこに行く！？

→症状ごとに、行くべき科を示した。一通り確認したあと、→の左側、もしくは右側のみを提示し、もう片方を何も見ずに答えさせる、という作業を行うとより定着すると思われる。

### 会話文

→一般的な初診時の会話を示した。問診票・保険証といった初診時に不可欠なものを盛り込んでいる。また、書き方が分からないときの発話も組み込んでいるので、実際に後ろに付した問診票を書き込みながら練習させるのが効果的である。何度も繰り返しこの会話文を練習することで、キーワード（初診・問診票・保険証など）を聞き逃さないようにする。

### 大切な語句

→絵の方が分かりやすいものは絵で、文の方が分かりやすいものは文で示した。何度もコーラスを行い、定着させたい。

### 大切な文型

→「すみません、～なのですが」に関しては様々な場面が考えられるため、前にある「こんなときどうする！？」でも文を用い、入れ換え練習をするのが効果的である。

### 保険に入る

→国民健康保険について示した。保険の大切さを知ると同時に、読みの練習にもなる。一度学習者に音読させ、次に教師が一つ一つ確認しながら読んで行くのがよいと考えられる。

### 問診票を書いてみよう！

→問診票のサンプルを載せた。実際の問診票と同じく、ルビは振っていない。2枚目に記入例を示したが、それがあっても教師の手助けがいるだろう。時間をかけて埋めていきたいところである。

また、ここで分からないことがあった場合、会話文中に出てきた質問の仕方をさせると、よりテキストの内容が身につくであろう。

中国語圏の学習者以外には非常に難しい内容だと思われるが、実際に書かなくてはいけない場面に遭遇する可能性が高いので確実に練習させたい。